



令和 5 年 2 月 28 日 (火) 例会 (第2863回) 報告 (晴) No.2691

出席率 …… 31/38 81.58% 第2861回補正出席率 …… 33/39 84.62% コロナ対策例会

欠席者 島谷、谷田、友森、中村、浜田(一)、堀田、村山
メイクアップ(記念誌委)8名 (ゴルフ⑧)9名
出席免除 足立、岡空、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

先日、未来トークの最終回があり、3回とも同じ生徒・企業の顔合わせで、どのチームも仲が良い状況になっていました。私も色々な気づきを得ることができ、とても素晴らしい事業だったと思います。

今日から境港RC名物の握手タイムが復活です。人類において握手はとても重要な行為で、ダイアナ妃の握手が有名です。触れただけで感染するというエイズへの誤解、患者への偏見・迫害が世界に蔓延していた時代に、ダイアナ妃がエイズ患者の隔離病棟を訪問し、突如として手袋を外し、素手で握手をする映像が全世界に放映されました。それ以後、世界はエイズ患者に対する偏見が一変したという話で、握手とはそれだけの力があるという証です。私達の握手タイムもその位の気持ちをもって行いましょう。

◆パスト会長時間 黒田 耕 パスト会長 (2008-09年度)

2月初めに大雪が降り、除雪でできた雪の山が1週間程で真っ黒になりました。あの黒の原因は排気ガス等で、環境破壊の要因のひとつが目に見えた形でした。雪は解けても汚染は残ります。環境産業に身を置く者として、一層、気をつけなければと思いました。環境を守るため皆で頑張りましょう。



◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎石倉GE事務所より「地区協案内・アンケート依頼」「事務局研修案内」 ◎友末G事務所より「地区大会記念誌」 ◎倉吉東RCより「合同IM案内」 ◎米山奨学会より「ハイライトよねやま第275号」「学友会報 第10号」が届く

◆理事会報告 赫 太郎 幹事

【議題】①日帰り家族旅行決算[報告]→了承 ②忘年家族会決算[報告]→了承 ③財団オークション結果[報告]→了承 ※地区の寄付目標を達成 ④中間決算[報告]→了承 ⑤合同IM(倉吉東RC主催)の登録について[審議]→今年度は任意登録
【その他】①今後の例会…2/28から握手タイム復活。WEB併用は状況により柔軟に対応。 ②酒井倉庫にある古い書類等…適切な時期に廃棄処分する(2/16:作業完了)

◆委員会報告

◎職業奉仕委員会…高瀬裕章 委員長

地区補助金事業・境三中での「未来トーク」を無事に全行程終了しました。中学生と企業人との3回にわたる交流で、互いに気づきや得ることの多い活動になりました。ご協力・応援いただいた皆様、大変ありがとうございました。

◎ゴルフ同好会…瀬戸良三 会員

2/26(日)出雲市の島根ゴルフ倶楽部で第8回コンペを行いました。優勝は藤瀬会員でエイジシュート。柴田会員が初参加でした。今後ともよろしく願います。

— スマイルBOX —

◎出席表彰 内田、松井 ◎創立祝 内田、赫、松本(正) ◎誕生祝 市場、木村、定秀、庄司、渡辺(昇) ◎結婚祝 渡辺(昇) ◎高梨さんをお迎えて 小林、中田、浜田(貴)、北國 ◎高梨さんの卓話、楽しみにしています。三輪、柴田、瀬戸、鷲澤 ◎未来トーク、お疲れ様でした。ありがとうございました!! 高瀬 ◎連日「大漁」で良いですね 中木 ◎今日もイワシが大漁です。食べたい方は帰りに寄ってください。喜多村 ◎爺になりました 中田 ◎スマイルに協力 川田、黒田、平岡、松本(勝)

◎「ロータリーの友2月号」紹介…酒井博淳 雑誌広報副委員長

出席表彰
連続15年 内田幸二
10年 松井尚成 各会員
内田会員 松井会員

2月創立記念日祝い
2日 松本 正 20日 赫 太郎
9日 内田幸二 22日 増谷立夫 各会員
松本(正)会員 内田会員 赫幹事

◆3月行事予定(水と衛生月間)

3/21(火) 休会(祝日)

— プログラム — 「地域のおばちゃん 毎日学校へ行く」 —

境港教育委員会事務局 生涯学習課
三中校区地域学校コーディネーター 高梨典子氏
境港市立第三中学校が総合的な学習の時間で行った「未来トーク」では、境港ロータリークラブの皆様には全面協力していただき、本当にありがとうございました。おかげで生徒にはとてもよい出会いの場、学びの場となりました。



未来トーク後の生徒のアンケートには、「境港にはよい会社がたくさんある」が93%、「一度市外に出ても、将来は境港に帰って来たい」が77%と、学習を行う前よりもポジティブな数値を伸ばしています。また、自己理解の面では、「夢を叶えるために前向きに進みたいと思う」が38%から64%まで伸びました。これは日頃から頑張りたいたいという気持ちを持っている生徒が、未来トークを通して地域の魅力的な大人と出会い、前向きにやっという気持ちになった結果だと思えます。

中学生は思春期真っただ中で、一番将来が見えづらい年ごろだと思います。職業や会社から「働く」ということがまだイメージしにくい年代です。でも、未来トーク後に見えてきた生徒の心情からは「会社の雰囲気が良いことや、優しい人と一緒に働きたい」と思っているということがわかりました。人間関係で悩みをかかえることが多いこの時期に、周りにいる大人がどれだけ「大丈夫だよ」と言ってあげられるかも大事になってきます。

三中校区(外江・渡)学校運営協議会では、学校外の活動も豊かにし、子どもたちが地域に愛着がもてるような活動を行っています。私は、子どもたちにたくさんのお会いの場をつくるのが仕事ですが、子どもと触れ合うことで元気になる地域の方もたくさん見てきています。昔から子どもは地域の宝と言われています。子どもたちを真ん中にして、これからも元気な町づくりをしていきたいと思えます。

今回(3月7日)プログラム

「長男の嫁として移住したら、会社経営者になった話」
合同会社式百円 代表社員 森脇香奈江氏

次回(3月14日)プログラム

「膝のつらい痛みを和らげるためには」
～変形性膝関節症のお話～ 市場和志 会員